

「石川県国際化推進プラン2026」(案)に関するパブリックコメントの結果について

1 募集期間 令和8年6月8日(月曜日)～6月29日(月曜日)

2 寄せられたご意見 2件

番号	意見の内容(概要)	左記の意見に対する考え方
全体		
1	本プランにおいて「何のために国際化を推進するのか」という最上位目標(ビジョン)が不明確であり、目的と手段(プロセス)の階層構造が整理されていない。「国際化の推進」自体を目的化するのではなく、最終的に県民生活を豊かにするための「県内総生産」「県民一人当たりの所得」「地域経済循環率」の向上を最上位目標として明記し、そこから各施策・KPI へとブレイクダウンする構造に再編することを求める。	本プランは、本県の最上位計画である「石川県成長戦略」に基づく国際交流、多文化共生、外国人材に関する分野別計画の位置付けであり、成長戦略が目標に掲げる「幸福度日本一に向けた石川の未来の創造」の実現に向け、それぞれの分野における基本的な考え方と取り組むべき施策の方向性及び成果指標(KPI)を体系的に示した構成となっています。
第4章 施策の方向と概要		
基本方針Ⅱ 外国人と日本人がともに生き生きと安心して暮らせる社会づくりの推進		
2	県内どこに住んでいても外国人が安心して生活できるよう、対応内容、言語などの最低基準を県が定めた上で、全市町に外国人相談窓口を設置すべき。災害時の支援体制強化の観点からも、平時から外国人相談窓口を整備し、地域の外国人住民との接点をもつことが重要。	県内どこに住んでいても外国人が安心して生活できる環境づくりは重要と考えております。一方で、外国人住民数や国籍構成、相談体制等は市町により状況が異なることから、県が一律の基準を設けることは困難であると考えています。本プランでは、市町や関係機関と連携し、外国人住民の相談事業に関する課題や情報共有のため、相談員向け研修会を実施するとともに、関係者間のネットワーク構築を図るなど、相談対応の充実に取り組むこととしています。いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。